

第29週の発生動向(2004/7/12~2004/7/18)

- 1 咽頭結膜熱については、減少傾向にあります。先週に引き続き弘前、五所川原、上十三、むつ保健所管内で警報が出されています。
- 2 ヘルパンギーナについては、先週に引き続き、むつ保健所管内で警報が出されています。青森及び弘前保健所管内では患者数が多いことから注意が必要です。

第29週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(60) 咽頭結膜熱	4	0.50	6	0.60	2	0.22	2	0.40	2	0.33	6	1.50	22	0.52	-23
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	14	1.40	4	0.44	2	0.40	6	1.00	1	0.25	29	0.69	+1
(62) 感染性胃腸炎	30	3.75	19	1.90	2	0.22		0.00	11	1.83	2	0.50	64	1.52	+19
(63) 水痘	12	1.50	11	1.10	22	2.44	9	1.80	12	2.00		0.00	66	1.57	+21
(64) 手足口病		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	2	0.50	2	0.05	±0
(65) 伝染性紅斑	3	0.38	2	0.20	2	0.22		0.00		0.00		0.00	7	0.17	-2
(66) 突発性発疹	5	0.63	8	0.80	2	0.22	1	0.20	9	1.50	2	0.50	27	0.64	+10
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹		0.00		0.00	1	0.11		0.00		0.00		0.00	1	0.02	±0
(69) ヘルパンギーナ	26	3.25	31	3.10	4	0.44	6	1.20	6	1.00	12	3.00	85	2.02	±0
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25	2	0.20	20	2.22	1	0.20	4	0.67		0.00	29	0.69	±0
(73) 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(74) 流行性角結膜炎		0.00	1	0.33	1	0.50		0.00		0.00		0.00	2	0.18	±0

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

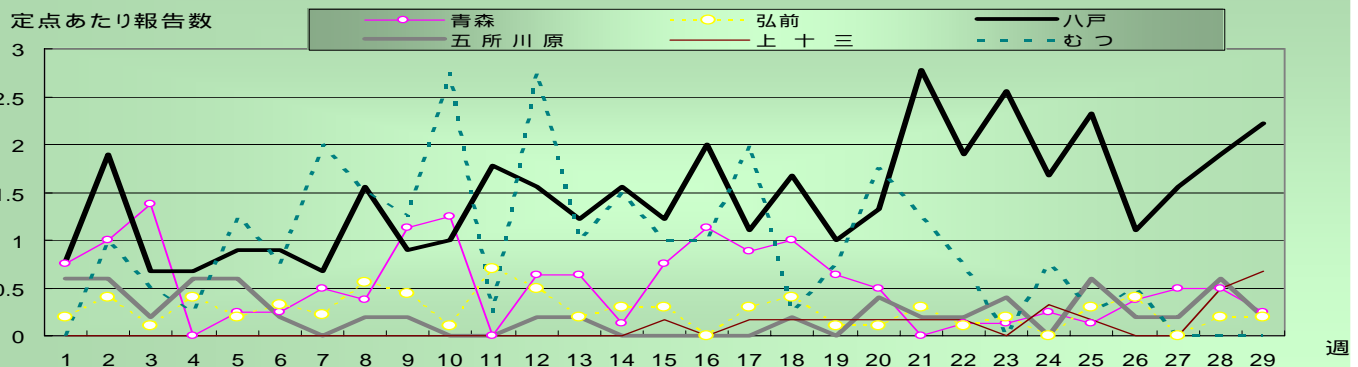
表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 上十三保健所管内 1人 (16年計 5人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 3人 (16年計 69人)

感染症の窓

流行性耳下腺炎

保健所管内別の推移(2004年)



- 病原体** ムンプスウイルス(mumps virus)です。
- 症状・経過** 耳下腺の腫脹、発熱、唾液腺の腫脹、圧痛、発熱。潜伏期間は2~3週間です。通常は1~2週間で軽快します。合併症には無菌性髄膜炎、脳炎があります。
- 感染経路** 唾液や分泌物による飛沫あるいは接触感染で、主な感染場所は家庭、保育所、幼稚園、小学校などです。
- 感染期間** 耳下腺が腫れるなど発症の数日前から症状が消えるまでは、人に感染する可能性があります。
- 発生状況** 2004年はむつ及び八戸保健所管内が高い数値で推移していましたが、八戸保健所管内では、第21週から第26週まで増減を繰り返し、第27週から再び増加傾向にあり、注意が必要です。